

生糸の「光秀マニア」が解説する明智光秀の“正体”

明智光秀の原像

2019年11月11日(月)発刊

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は、窪寺 伸浩 著『明智光秀の原像』を2019年11月11日(月)に刊行いたします。

自宅に光秀を祀る小さな祠をつくった生糸の「光秀マニア」

著者の明智光秀研究は、12歳のとき大河ドラマ『国盗り物語』を見て、自宅に光秀を祀る小さな祠をつくったことから始まる。そして大学の卒業論文は哲学科に籍を置きながら『明智軍記』の世界を執筆し、卒業後も今日まで研究を続けるライフワークである。生糸の「光秀マニア」の現役経営者が、2020年の大河ドラマ『麒麟がくる』放映前に「光秀とは何者だったのかを世に伝えたい」と出版社を熱く説得して刊行。

- 光秀はなぜ信長の遺体を秀吉に渡さなかったのか
- 光秀の額の傷は何を象徴しているのか
- なぜ光秀は本能寺の変を起こしたのか
- 「三日天下」とは何だったのか

など、謎多き武人のすべてが明らかになる！ 東洋大学学長・竹村牧男先生推薦！

書籍名:明智光秀の原像

刊行日 :2019年11月11日(月)価格:1,500円(税別)

ページ数:160ページ 著者名:窪寺 伸浩(くぼでら・のぶひろ)

ISBN:978-4866671871

【目次】

はしがき

第1章 『明智軍記』の成立

第2章 『明智軍記』の構造

第3章 『明智軍記』の影響

あとがき

【著者プロフィール】窪寺 伸浩(くぼでら・のぶひろ)



クボデラ株式会社 代表取締役社長、東京都神棚神具事業協同組合理事長
昭和36年、東京都生まれ。東洋大学文学部哲学科卒業。クボデラは、昭和21年、創業の老舗木材問屋。台湾、中国等からの社寺用材の特殊材の輸入卸を行う。東京証券取引所TOKYO PRO Market上場。東京都神社庁御用達。

一方で、神棚の存在意義を普及する活動を行い、社寺用材の納入、神棚セットの販売などを行うほか、企業の朝礼で神棚の祀り方などをアドバイスしている。インド仏教最高位の日本人僧侶、佐々井秀嶺氏の日本での講演を実現させるなど、神道、仏教、歴史、哲学への造詣も深い。



光秀とは何者だったのか？

史論としての『明智軍記』を読み解く思案の旅

東洋大学学長 窪寺伸浩 著者は、中世的狹きの河原者を本質とする。

竹村牧男氏 推薦！ 新たな光秀像を照らし出した一書

あさ出版

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ

古垣(フルガキ)TEL:03-3983-3225 090-4424-6911 furugaki@asa21.com

株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階